

平成 22 年 6 月 11 日

各 位

札幌市北区北 9 条西 3 丁目 7 番地
会 社 名 株式会社 土屋ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 土屋 昌三
(コード番号 1840 東証第 2 部・札証)
問 合 せ 先 責任者役職名 経営企画部長
氏 名 小田 徹
電 話 番 号 011-717-5556

土屋グループ 近未来型エコ住宅「G-TOP」(ジー・トップ) 発表についてのご案内

ご案内のとおり、土屋グループは、設立以来一貫して耐久性・耐震性に優れた頑強な構造で資産価値の高い住宅、四季を通じて安全かつ快適で健康的に暮らせる住宅等の条件を満たしながら、省エネルギー化を始め、住環境の技術開発に取り組んでおります。

この度、木質構造・環境で先導的な技術を提案する J 建築システム株式会社(本社：札幌市)が、東京大学をはじめとする研究機関とのコラボで開発した「JJJ-Sun ハウス」(別添 1 および別添 2 資料をご参照下さい。)について、当社グループ事業会社 3 社が、北海道をはじめとして関東以北の事業地域内で一定条件のもと基本ライセンス契約を締結し、土屋グループの先導的技術とハイブリッドしたオリジナル新商品・近未来型エコ住宅「G-TOP」(ジー・トップ)として発表する運びとなりました。

「G-TOP」(ジー・トップ)とは、積雪地域の特性を考慮し、屋根と一体化させた軒先を巧みに利用し、太陽光パネル搭載面積を大幅に広げることを可能にした斬新な外観デザインによって「究極のエコ建築」を目指した住宅です。

これまでの住宅の概念を遥かに超越するインパクトある構造デザインは、地球温暖化や資源枯渇など、昨今のさまざまな環境問題に真正面から取り組んだ結果、まさに必然性から生まれた「近未来型先導的モデル住宅」として注目していただけるものです。

土屋グループが 6 月 12 日を以って創業 41 周年を迎えることを記念して、事業会社 2 社(株式会社土屋ホーム、株式会社土屋ツーバイホーム)による新商品「G-TOP」(ジー・トップ)の発表記念キャンペーンを開催する運びとなりました。

未来に向かって進化した近未来型エコ住宅・5 プランを、創業記念特典付きでご提供させていただきます。

また同時開催として、土屋グループの原点ともいえるべき、昭和 59 (1984) 年に「全国省エネルギー住宅コンクール全国第 1 位建設大臣賞」を受賞した技術を結集した省エネモデル住宅「ザ・サッポロ」を、今日の外断熱工法で甦る「ザ・サッポロ復刻版」キャンペーンを実施し、当社グループが誇る高い技術と品質のエコ・省エネ住宅をご提供いたします。

当社グループはいつの時代も、常に先見の視野に立ち、永続的な住まいづくりを目指して取り組んでまいります。

■近未来型エコ住宅「G-TOP」(ジー・トップ) 5プラン概要

- ・プラン／軒先の形から「G」の文字を連想させる、優れた性能評価・実証数値を持つ

近未来型エコ住宅5プラン

- ・延床面積／33.00坪(109.30㎡)～36.50坪(120.90㎡)
- ・販売価格／2,330万円～2,390万円(税込、札幌エリア価格)
- ・設備仕様／太陽光発電パネル、エコキュート、外断熱工法



■新商品「G-TOP」発表記念キャンペーン概要

- ・成約特典／全道限定41棟につき太陽光発電パネル3kw相当をプレゼント
- ・発売期間／平成22年6月12日～7月31日までにご契約、同年10月31日までにお引渡し可能な方

■同時開催 全国第1位建設大臣賞受賞モデル「ザ・サッポロ復刻版」キャンペーン概要

- ・プラン／全国第1位建設大臣賞受賞モデル「ザ・サッポロ」を復刻した外断熱工法住宅
- ・成約特典／全道限定41棟につき7つの省エネスペックをプレゼント
(1. 外断熱工法で甦る次世代省エネ基準、2. 住宅版エコポイント対象住宅、3. 長期優良住宅、
4. フラット35S対応住宅、5. オール電化住宅、6. 節水スペック、7. 節電スペック)
- ・発売期間／平成22年6月12日～7月31日までにご契約、同年10月31日までにお引渡し可能な方

■近未来型エコ住宅「G-TOP」(ジー・トップ) 概要及び創業41周年記念キャンペーンに関するお問い合わせ

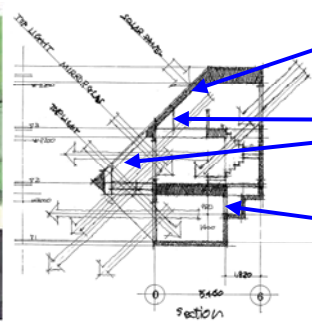
株式会社土屋ホーム 本店企画宣伝室長 渡辺(電話:011-717-3323)までお願いします。

以 上

■別添1 「JJJ-Sun ハウス」(Gトップシステム) 概要



J 建築システム実験モデル住宅
(札幌市南区川沿)



太陽光発電パネル

軒先を巧みに利用し、屋根と一体化させた
インパクトのある外観デザイン

道産からまつ材利用

オール道産材(軸組・二次部材・面材)
「J-耐震開口フレーム」を使用

デシカント空調

戸建住宅では初の試み、
デシカント空調システム導入

●太陽光発電パネル

北海道経済産業局 「平成 21 年度新事業活動促進支援補助金」

●道産からまつ材利用

<水平利用>

国土交通省「平成 21 年度地域木造住宅市場活性化推進事業」採択

<鉛直利用>

- ・(独) 建築研究所 「耐震補強技術コンペ」国土交通大臣賞
- ・兵庫県「住宅耐震改修工法コンペ」兵庫県知事賞
- ・(財) 日本建築センター 施行規則 1 条国土交通省大臣認定取得

●デシカント空調

国土交通省 「平成 21、22 年度住宅・建築関連先導技術開発助成事業」採択

■別添2 「JJJ-Sun ハウス」(Gトップシステム) 開発者のコメント

J 建築システム株式会社は、木質構造をベースに様々な耐震アイテムを開発してきました。その中でも J-耐震開口フレームは、十数年に渡る実験・検証を経てようやく商品化に至り「国土交通大臣賞」など数々の受賞や全国的な普及を行っております。

このフレーム技術を応用して開発したのが、シンプルでダイナミックな外観を可能とする「Gトップシステム」です。それは、太陽光発電を効率的に取り入れるための機能的デザインと自由性のあるマルチスペースを提案します。

Gトップ部の空間は面白さに溢れ、居住者の希求ごとで用途は広がり、多様な過ごし方が楽しめます。

- 子供をいつでも安心して見守れる遊びの空間
- 趣味のスペースや書斎、奥様のアトリエとして
- 植栽や花を置いて季節の変化が感じられる癒し空間に

シンプルで頑丈なGトップフレームにより、あっという間に「近未来型デザイン」に変貌させます。コストを重視した総2階プランであっても、外観はユニークで変化に富んだデザインとなります。法の縛りで思い切ったデザインが難しい時代に一石を投じる画期的なアイテムといえるでしょう。

このGトップシステムを構築し普及していくにあたり、全国で先がけて土屋グループに採用して頂きました。北海道での信頼と実績、技術力を誇る土屋グループを通して、多くの方々が願う安全で快適な住まい造りの一助となれば幸いです。

J 建築システム株式会社

一級建築士
博士(工学・農学)

手塚 純一

主業務は構造設計、各種認定・評価の支援など。品確法のアドバイザー等の公職を歴任し、'03年耐震コンペで「J-耐震開口フレーム」が国土交通大臣賞、'07年兵庫県耐震コンペで知事賞を受賞。学問・業界の掛け渡し役を兼ねた実践的な技術者。現在は、東京大学大学院に特定研究員、札幌弁護士会の紛争処理委員。